

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくらう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう

2024~2025年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2024.7~2025.6

会長(理事) 高橋 茂樹
副会長(理事) 橋田 行郎
幹事(理事) 牧本 歳子
副幹事 堀川 太郎
会計 安原 孝則
S.A.A.(理事) 吉田 穰佳
副S.A.A. 難波 人那

会員増強・退会防止(理事) 中宮 賢太郎
広報(理事) 山井 宏己
奉仕プロジェクト(理事) 永馬 雅幸
ロータリー財団(理事) 水馬 幸宏
親睦活動 正保 三倫
プログラム 廣野 景達
直前会長 岸本 達也
次期会長 高島 浩

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「シェアリングエコノミーによる、障がい児・者の外出支援の実績と展望」
(株)Cone.xi (コネクシー)
代表取締役 高木 大地 様

次回10月29日のプログラム

「イニシエーションスピーチ」
米山奨学生 チョウン ヒエン ヴーン 様

前回10月8日の例会記録

出席の状況

会員数 53名 (出席免除者0名)
出席者数 35名
欠席者数 18名
出席率 66.04%

ゲスト

国際ロータリー第2690地区 地区ガバナー 榑原 敬 様
国際ロータリー第2690地区 地区ガバナー随行者 西川 智 晴 様
小石川ロータリークラブ 谷 一 尚 様

スケジュール

10月 地域社会の経済発展月間・米山月間

29日(火) 12:30~例会
13:40~指名委員会

11月 ロータリー財団月間

5日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
12日(火) 12:30~例会: クラブフォーラム (R財団)
13:40~第5回理事役員会
19日(火) 12:30~例会
26日(火) 12:30~例会



RIバナー授与

本日のメニュー: ヘルシーランチ (洋食)

次回のメニュー: 和食

会長挨拶



本日は、ガバナー公式訪問例会です。榊原ガバナー、後程卓話を宜しくお願い致します。
先ほどのガバナー・会長・幹事懇談会では、変革の第一歩として、マイロータリーへの登録をし、ジャパンポータルサイトの両方から最新のロータリーの情報を得ることから始める必要がある事再度確認をしました。

また、土曜日、日曜日と地区大会に参加してきました。私が幹事の時は、コロナ禍で何もかもがリアル開催中止でしたので、土曜日のガバナー補佐・会長・幹事会からの国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会も初めての経験で興味深く参加させて頂きました。日曜日の地区大会へは多くの会員の皆様に参加頂きました。夕方からの懇親会も12名の会員が残ってくださり、円卓1卓に丁度良い人数で周りのクラブの方との交流も多く出来ました。参加して頂いた皆さん、ありがとうございました。

先週3日木曜日に総社RCに牧本幹事、堀川副幹事、渡辺米山記念奨学会委員長と4名で訪問してきました。静岡県長泉RCより小原さんをお迎えして「公益社団法人 米山梅吉記念館について」の卓話を聞かせて頂きました。また、ビジターとして東京バリアフリーマインドRCより夏井さんが来ておられました。

この方が非常におもしろい方で、所属RCは2021年10月に創立された新しいクラブでリモートとリアルのハイブリッド例会で行われていて、海外からの参加者もいらっしやるそうです。現在、吉備中央町へ単身赴任で移住されていて、行政より救急・災害医療×ICTの導入を吉備中央町で行っているそうです。

ただ、課題としては会員数20名との事での予算の無さ、そしてハイブリッド例会ならではの会員同士の結びつきの弱さを上げられていました。

幹事報告

1. 10月のロータリーレートは1\$=142円です。
2. 10月1日例会終了後、理事役員会が開催されました。
3. 10月6日(日)に地区大会にご参加いただいた皆様お疲れさまでした。
地区大会で表彰いただきました。
 - ・地区目標達成賞
2023-24年度
会員増強(純増最低1名)目標達成クラブ
4. 地区大会出席のお礼状、財団室NEWS 10月号、おかやまアーツフェスティバル2024のチラシ、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S.A.A.

高橋君：本日は、ガバナー公式訪問例会 宜しくお願い致します。地区大会お疲れ様でした。

牧本君：榊原ガバナー様、西川ガバナー随行者様のご来訪、心より感謝いたします。

本日は、卓話よろしくお願ひいたします。

橋田君：同

堀川君：地区大会お疲れ様でした。

榊原ガバナー様、西川随行者様 貴重なお話をありがとうございます。

宮井君：榊原ガバナー、地区代表幹事西川様のご訪問を歓迎いたします。

地区大会、出席者の皆さまおつかれさまでした。

中山君：榊原ガバナー、西川地区代表幹事、本日はお越しいただき誠にありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

高島君：榊原ガバナー、西川地区代表幹事様、本日はどうぞよろしくお願ひ致します。

砂田君：榊原ガバナー、西川地区代表幹事のご来訪に感謝いたします。

双田君：榊原ガバナー、西川地区代表幹事様ご指導ありがとうございます。

伊藤君：地区ガバナー榊原敬様、地区ガバナー随行者西川智晴様、ご指導ありがとうございます。

山本(和)君：榊原ガバナーのご訪問を歓迎致します。

岸本君：榊原ガバナー、西川様お越し頂きありがとうございます。

米林君：榊原ガバナー 西川様には地区大会お疲れ様でした。チアが素敵でした。

本日はご訪問、ご指導ありがとうございます。

妹尾君：誕生日のお祝いありがとうございます。

磯島(慈)君：いやー。地区大会、10月とは思えない暑い中たいへんお疲れ様でした。地区大会後の二次会では、高橋会長、岸本直前会長、永山さんにたいへんお世話になりました。誠にありがとうございました。

吉田君：再度お伝えします。来週、再来週はネクタイ着用は任意です。



出席報告



スマイル報告

委員会・活動報告



米山記念奨学会
委員長 渡辺 怜 会員

バナー交換



小石川RC
谷一様とバナー交換

ガバナー公式訪問例会



国際ロータリー第2690地区
地区ガバナー 榎原 敬様



RI第2690地区の皆さまへ

1



2024-25年度
RI会長テーマ (ステファニー A. アーチック女史)
ロータリーのマジック
RI第2690地区スローガン
未来への架け橋をつくろう
RI第2690地区岡山北RC会長テーマ
仲間との経験を増やそう

RI第2690地区ガバナー
榎原 敬



2024-25年度 RI会長テーマ ロータリーのマジック

2



- ・ 良い変化をもたらす行動（奉仕活動）を～ロータリーの底力であり魅力である
- ・ 「奉仕」を通してクラブの活性化を図る地区（RC・RAC）の会員増強
会員増強100人 & 4クラブの新規設立
- ・ 最優先課題はEnd Polioと会員増強
- ・ デザイン
オレンジ：節目の終わり～変化の原点
スカイブルー：知識、知性、信頼、忠誠心
→変化し、前進することを示す

ビジョン声明（基本的な考え方）

3

▶ ビジョン声明

私たちは世界で、社会でそして自分自身のなかで持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています

▶ 行動規範

ロータリーの中核的価値観：
親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ

▶ 行動計画

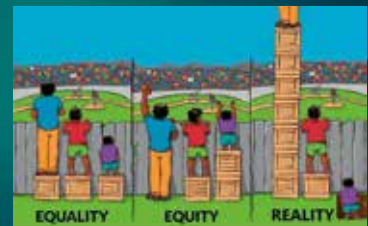
より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める

DEI と Equity (公正性) とは

4

Diversity : 多様性 ありのまま
Equity : 公正性 / 成功するためのリソース
Inclusion : 開放性 / 自分が大切にされている

- ▶ 活性化のために
若手や女性にチャンスがあるべき姿にとられない
チャレンジを後押しする
- ▶ 何が地域に喜ばれるか
- ▶ どうしたらできるか考える
- ▶ 無関心にならない



RI第2690地区の現状と課題 (1)

5

項目	数値
奉仕活動への参加者 (名)	41,100
積極的な参加者 (名)	18,100
ロータリー活動プログラム参加者 (名)	25,100
ロータリークラブ参加者 (名)	34,100
地区委員会への出席者 (名)	41,100
ロータリー協議会委員プログラム参加者 (名)	32,100
地区委員への参加者 (名)	41,100

- ▶ 「奉仕活動ができない」理由は何か
- ▶ 会員数が少ない
- ▶ 会員に若手が少ない～若手の確保が急務
- ▶ マイロータリーが普及しない（登録率37.53%）
- ▶ 活動資金がない...補助金の活用ができない
寄付が集まらない
- ▶ 活動計画に問題がある...前例踏襲の繰り返し

RI第2690地区の現状と課題 (2)

6

- ▶ 資金
年次基金寄付の減少
→3年後にDDF資金が減る
(地区資金の50%はここが財源)
目標額を上回る寄付に感謝
会員数減少～
目標額・寄付額とも減少傾向
- ▶ 地区組織の改革（歳出削減）
地区委員会の1/3削減
財団事務所の見直し



2024-25年 何が求められているか

8



- ▶ ときは今、Revolution (変革) を進めるとき
平塚田中 1872-1979
岡山県井原市出身
- ▶ 「今やらねば いつできる
わしがやらねば 誰がやる」
- ▶ このままでは、じり貧に陥る
- ▶ 変革にはタイミングが重要
時間が経てば、改革できない
- ▶ 頼まれるうちが華
- ▶ 旬を過ぎれば声は掛からない

RI第2690地区をどうするのか

9

- ▶ 地域へのアピール=「必要な奉仕活動」(若者と力を合わせて)
メディアに声掛け(TV・新聞)
- ▶ 会員増強・・・少ないのであれば、量だけでなく質にこだわりたい
親睦～居場所確保・奉仕活動～満足度の向上
地域から喜ばれる 独創的な活動の推進
- ▶ 次世代(社会の役に立ちたいと思っている)へのアピール
若い世代の視線=WEBに対応「公共イメージの向上」～会員増強へ繋げる
各クラブHPの充実(更新が必須)、活動はポータルサイトにWEB登録する
- ▶ 寄付金の確保

新しい風を吹き込む
Revolution (改革) を

意識して欲しいこと

10

- ▶ 人口減少と少子化だからこそ、何をするか
- ▶ 地域から何を期待されているのか
- ▶ どうすれば会員満足度は向上するのか
- ▶ 公共イメージの向上を図る～ End Polio・Polio Dayのイベントに協力する
- ▶ 会員増強を推進する(3000人超え目標)・・・各クラブ会員1人増+新クラブ設立×4>100人
- ▶ RIは変革を求めている～意識改革の推進
- ▶ 異なる考え方(寛容)～幅広く多様な人材を迎える
- ▶ 地方では若手が少ない・老若男女の結束を図る
- ▶ 活動にはマンパワーと資金が必要
- ▶ ローターアクトクラブは対等～サポートが必要
- ▶ 寄付
- ▶ RI分担金と地区分担金
- ▶ ボール・ハリス・ソサエティー

RI分担金(2022年規定審議会)

2022・23年度	半年毎	35ドル50セント
2023・24年度	半年毎	37ドル50セント
2024・25年度	半年毎	39ドル25セント
2025・26年度	半年毎	41ドル

地区分担金・・・12,500円(1000円アップ)
地区組織の改革(委員会の1/3削減等)

2024-25年度第2690地区スローガン

未来への架け橋をつくろう

12

より良い世界をつくり、より大きなインパクトをもたらすために



地域に役立つ奉仕活動の実践を通して
地域の未来をより良くする
若い世代を巻き込んだ活動を目指す

RI第2690地区のメッセージ

13

- ▶ RI第2690地区の目標
- ① 地域に役立つ奉仕活動の実践
- ② 公共イメージの向上 (End Polio と Polio Day)
- ③ 会員増強
100人増; 各クラブ1人会員増と地区3000人超え目標
4クラブの新規設立: ローターアクトクラブ(大学)が鍵
- ④ 地区大会への参加
- ⑤ 活動資金の確保・・・寄付ゼロクラブを出さない
- ⑥ 国際大会への参加

世界ポリオデーのポータルサイトを視覚し、
各地区のポリオ根絶に向けた取り組みを紹介し、
顕彰、検証する取り組みを今年も実行します
RI第1/2/3地域公共イメージコーディネーター

各自のクラブ Visionを持って、Designを描く

14

観点 = 世界によい変化をもたらす・ポリオ・財団資金

- ▶ D: DEI (Diversity 多様性・Equity 公正性・Inclusion 包摂性)
- ▶ E: Evolution (進化)
- ▶ S: Service (奉仕)
- ▶ I: Inspiration (ひらめき)
- ▶ G: Generously (寛容)
- ▶ N: Nobility (高潔)

(私が重視すること)
地域に必要な奉仕活動
若者を巻き込む(参加を)
未来をより良くする

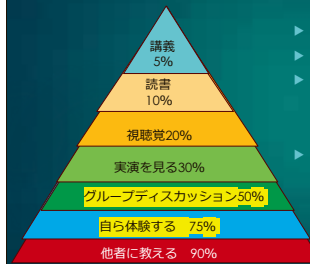
気に留めて欲しいこと

16

- ▶ 伝統は変革の連続である(100年企業では当たり前)
- ▶ 生き残ることができるのは、変化に適応できる者だけである(ダーウィン)
- ▶ 異なる考え方を(高潔に)寛容する(ボール・ハリス)
- ▶ 次世代の人材を育成し、老若男女の力を結集する
- ▶ ロータークラブの裁量は大きく、独創性も必要
- ▶ 同じことの繰り返し・仲良しだけでは衰退する
- ▶ 今年から3年間の行動計画を考えましょう

各手法と学習の定着率

17



- ▶ 体験のない座学だけでは定着しない
- ▶ 自らの考えのブラッシュアップが大切
- ▶ 今日からは自ら体験すること
= (地域に役立つ) 奉仕活動を
実践してください
- ▶ 他クラブに活動を知ってもらうことも
必要です=マイロータリー・ポータル
サイトへ登録(報告)

前例にとらわれない新しい発想 とにかく皆が喜ぶことをしよう (ウォルト・ディズニー)

18

- ▶ 期待通り=満足してもらえない・・・まったく同じでは飽きられる
- ▶ 期待を超える=感動になる
- ▶ 感動価値はどうすればつくれるのか

感動の要素: STAR

	四つの要素	
Sense	感情の高ぶり	五感、きれい、おいしい、気持ちいい、かぐわしい
Think	知見拡大	わかった、なるほど、すごい
Act	体験拡大	できた、やった、よかった、
Relate	関係性の拡大	すばらしい、ありがたい、一緒に

いかに地域に役立つ奉仕活動を行うか

19

- ▶ ステップ1: まず現状を知る
- ▶ ステップ2: 現場を見る
- ▶ ステップ3: 自分たちに何ができるか。 考え、討議する
- ▶ ステップ4: 実践する・・・素晴らしいロータリー人生が得られます
「真の親睦は奉仕活動のなかにある」

補足(助言)

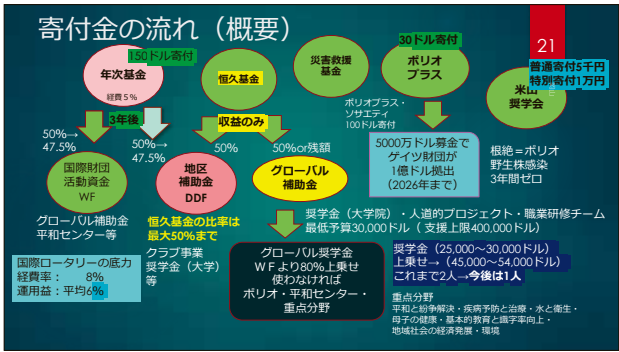
行政とつながることも必要
社会福祉協議会
クラブで理事会を運営することが困難であれば、奉仕活動に意欲のある有志を募る
～複数のクラブ有志で、衛星クラブをつくることもできる

寄付金について = 寄付ゼロクラブを出さない 20

- ▶ 寄付：負担額 **180米ドル + 15,000円/人**
- 年次基金 150米ドル（財団は8月31日迄を用途に）
- ポリオプラス 30米ドル：
- 米山奨学会 普通寄付 5,000円/人
特別寄付 10,000円/人

このほか、恒久基金（財団は12月31日迄を用途に）、災害支援基金

- ▶ 奉仕ランチ・バザーの売上げ・箱回しなどで 寄付の工夫をお願いします
- ▶ 任意の寄付：ロータリー平和フェロー基金、重点分野など
- ▶ ポール・ハリス・ソサエティ（毎年1,000米ドル寄付）への入会を考慮して下さい（2690地区 87名）



目標キーワード：変化の文化を育む 22

- ▶ 継続性の文化を醸成する
- ▶ 奉仕持続可能な勢いを構築する
- ▶ 重要な項目の測定を行う
- ▶ SMARTターゲット〜奉仕を効果的に実施
Specific具体的・Measurable測定可能・Achievable達成可能・Relevant関連性・Time-bound期限付き
- ▶ RIの目標との整合性をとる
- ▶ 全員参加を促す（これが成功の鍵）

まとめ 24

- ▶ トップダウンではなく、ボトムアップ（各クラブの自主的な取組み）が重要で、今後3年間の行動計画をクラブで考えましょう
- ▶ 奉仕・親睦・公共イメージの向上など〜上手に活用して行事参加（全員）
→ロータリーを素晴らしいと感じてもらおうこと（意識）
=ロータリーを好きになる・居場所〜居心地のよさ
- ▶ これが、ロータリーを育むことです
- ▶ 2024 - 25年は奉仕活動の実践に軸足（未来への架け橋をつくらう）
地域に役立つ奉仕活動
公共イメージの向上
ポリオ根絶への協力
会員増強
寄付ゼロクラブを出さない

地区大会



2024年10月5日（土）、6日（日）の2日間、2024-25年度の地区大会が開催されました。

6日の本会議は岡山ドームでおこなわれ、会員24名、米山奨学生ヴァン君、事務局 長田さんの計26名で参加しました。当日は天候が非常によく、岡山ドーム内は少々暑かったですが、空間と椅子の配置が広々として過ごしやすくもありました。

中山会員は、きびだんごの販売ブースを出店し、会場

に賑わいを添えていました。

本会議場入口には、9月29日におこなわれた記念テニス大会の成績表が掲示され、高橋会長の好成績が披露されていたようですが、撮り漏らしてしまいました。申し訳ございません。

記念講演は榊原地区ガバナーの肝いりとのことで、1名でも多くの会員に聴講して欲しいと午前中におこなわれました。

講師の太刀川英輔（たちかわ えいすけ、1981年生）氏は、インダストリアルデザイン、グラフィックデザイン、建築など、社会的課題に取り組む多岐にわたるプロジェクトを手掛け、国内外で100以上のデザイン賞を受賞して



いるデザイナーです。

講演の内容は、彼の仕事の紹介と、著書である『進化思考』の要諦の解説でした。変異と適応を繰り返す生物の進化の過程をアナロジーとして、個人や組織が創造性を発揮し変化する環境に適応し続けるためには、偶発的なアイデアを大量に生成し（変異）、実際の状況に合わせて調整する（適応）プロセスを繰り返さなければならない、これにより変化の時代に適応し持続可能なイノベーションが可能になる、というものでした。

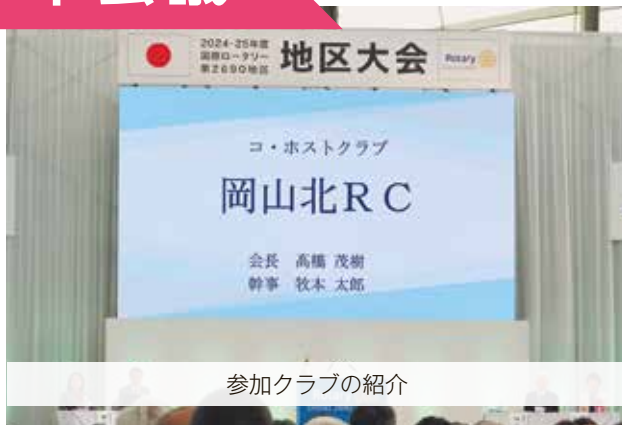


午後の部では、会員増強（純増最低1名）目標達成クラブとして、当クラブが紹介されました。

懇親会のハイライトは、IPU環太平洋大学チアリーディング部の演技でした。全国大会で優秀な成績をおさめるチームの演技は、3段積み重なって落下するなど素人目にもレベルの高いものでした。女学生たちの明るさと元気にあやかろうと、多くの会員がスマートフォンを向け、懸命に写真を撮影をしていました。

(会報委員会 宮井)

本会議



参加クラブの紹介



本会議にて



会場の様子

懇親会



うらじゃ



IPU 環太平洋大学チアリーディング部



懇親会 Jazz の演奏



手に手繋いで



